

Speaker System
SS-AR1 / AR2

心地よい音。それは、心に響く豊かな音。

その音をじっくりとくつろいで聴いていただきたい。

上質な音楽を楽しんでいただきたい。

また、音を楽しむだけでなく、持つ喜びを感じていただきたい。

これが、SS-AR1/AR2に込めた私たちの思いです。

Pure Heart Audio.
ビュアハートオーディオ

音楽の歓びを、心地よく奏でたい。

聴く人にとって心地よいサウンドとはどんなものでしょうか。

コンサートホールに一歩足を踏み入れた瞬間の、あの臨場感。

タクトを振り下ろす瞬間の息を呑む静けさ。

大音響の演奏、鳴り止まぬ拍手。すべてが素晴らしい音楽を楽しむためには不可欠です。

そのような、コンサートホールで体感できる音楽、感覚を

家庭で再現することを目指し、SS-AR1/AR2を開発しました。

各スピーカーユニットはひずみや共振の低減といった要素はもちろん、

音楽的な感動を引き出す、しなやかな音色を追求。

エンクロージャーも素材からこだわり、日本の木工職人の手で丹念に仕上げています。

リアルに音楽を描き尽くす情報量を持ちながら、それでいて心やすまる音。

それが私たちの目指した心地よいサウンドです。

ご家庭で、大好きな音楽をじっくりとくつろいでお楽しみください。

開発者の思い

私たちが日々スピーカーを設計しながら考えていることは、CDなどの音楽ソースに込められた作り手の思いを、できる限り正確に聞き手に伝えたいということです。

幼年期あるいは少年期から毎日練習を重ね、やがて自ら音楽の道を志した音楽家たちが奏でるベートーヴェンやマーラーの交響曲。そこには数多くの演奏者の強い思いが込められています。また、そこに演奏者の魂をできるだけ収録しようと努めるレコーディング・エンジニアの情熱が加わり、一枚のディスクが製作されます。

私たちは、そんな作り手の思いをできるだけ正確に聞き手に伝えられる再生装置を設計したいと常に考えています。物理特性はしっかりと押さえたいうえで、さらに人が感動する感覚、心地よさを大切にしたいと考えています。聞き手は、作り手の魂に共感できるとき、感動するのですから。

ソニー株式会社
アコースティック マネージャー

加来 欣志

3ウェイ・スピーカーシステム

SS-AR1 希望小売価格 850,000円+税/1台

| SS-AR1 |

3ウェイ・スピーカーシステム

SS-AR2 希望小売価格 600,000円+税/1台

| SS-AR2 |

心地よい音へのこだわり。 上質な音楽の喜びを、思う存分に味わうために。

エンクロージャー

素材へのこだわり1 -北海道の楓材-

北海道の広大な自然と厳しい寒さが育んだ楓(メイプル)は、スピーカーの不要な振動を抑える強固さと、豊かな響きの再現性を兼ね備えた理想的な素材。その響きの美しさから楽器にもよく使われています。SS-AR1/AR2は、木材の専門家の協力を得て、北海道産の楓を原木から購入し丸太を加工。厚さ50mm*ものパッフル板に仕上げられています。しかも伐採時期は、木の成長がある程度止まり、1年で最も木材が締まっている11月に限定。産地に加えて伐採時期にもこだわることで理想の音に近づけています。*SS-AR1,SS-AR2は40mm



スピーカーに必要な不可欠な強固さと豊かな響きを持つ北海道産の楓材



剛性と心地よい響きを実現した、SS-AR1の50mm厚パッフル板

素材へのこだわり2 -北欧の樺材-

側板には北欧産樺材を使用。エンクロージャー全体を強固な楓材で作ると音が窮屈で硬い印象になるため、硬さの異なる樺材を組み合わせてバランスをとっています。エンクロージャーとしての十分な強度と、寒冷地で育った木材独特の豊かな響きが得られます。

響きのコントロール

SS-AR1/AR2は、エンクロージャーの素材や構造を吟味することで、共振と響きのコントロールを徹底的に行いました。側板は樺材を使った32mm*の積層合板

に圧力をかけ、曲げ加工を施しました。異なる木材の組み合わせや、なめらかなラウンド形状により、不要な定在波を低減させ、音の回折による音波面の乱れを抑えます。

また、スピーカーユニットが外部に放出する音圧と同じエネルギーをエンクロージャー内部にも放出していることに注目し、背圧処理に配慮しました。

*SS-AR1,SS-AR2は25mm

ゆとりある容積を備える

ミッドレンジ、トゥイーター部

音楽信号の多くを受け持つミッドレンジ、トゥイーターには独立したスペースを設けました。エンクロージャー上部の約1/3がミッドレンジの容積です。ミッドレンジのために十分な空間を確保することにより、ユニットにかかる背圧の影響を低減。奥行きがありストレスのないサウンドを実現しました。

また、ウーファー部とミッドレンジ、トゥイーター部の間を厚さ24mm*の板2枚で仕切り、間を空気層で隔離するよう工夫しています。ウーファーの強力な背圧をミッドレンジ、トゥイーター部に伝えないことで、クリアで上質な音を再生します。*SS-AR1,SS-AR2は18mm



澄んだ音質を実現するエンクロージャーの内部構造 (写真はSS-AR1)

ウーファー間の相互干渉を排除した

「ミッドマウント・バスレフポート」

ウーファー部もふたつのユニットにかかる背圧の影響に対して入念に対策しました。ダブルウーファー構成は、振動

系を軽くできる小口径ユニットを複数使用することで、音の立ち上がりに優れた速い低域を得やすい反面、それぞれのユニット間の微妙な立ち上がりの差による、音の乱れなどが問題です。

この問題を解決するため、バスレフポートのレイアウトに注目。バスレフポートの位置は、理論上はどこに配置しても各ユニットにかかる背圧は同じです。しかし、実際にはバスレフポートの位置によって各ユニットへの背圧が変わってしまい、ユニットが同時に動くことができなくなってしまう。このため、各ユニットにかかる背圧ができるだけ同じになるようにバスレフポートを配置したのが「ミッドマウント・バスレフポート」です。これにより、ウーファー間の不要な相互干渉が抑えられ、立ち上がりの速い豊かな低域が再現されます。また、ポート開口部のエッジを曲線状に加工することでポートノイズを低減しました。



曲線状の形状によりポートノイズを低減したポート開口部 (写真はSS-AR1)

木工技術・塗装

高度な技術を持つ日本の木工職人の匠の技

エンクロージャーを形成する木材の良さを十分に生かすため、加工・組み立て・仕上げに至るすべての作業は日本国内で行っています。高度な技術を持つ木工職人の丁寧な手作業で完成する精密なエンクロージャーこそが高音質には欠かせない要素と考えます。この木材加工は、接着剤を使わずに組んだ段階でもエンクロージャーを自立させられるほどの高い精度で行われています。厳選された素材と日本の木工職人の



卓越した木材加工技術で丁寧に製造されるエンクロージャー

伝統的技術の調和が、スピーカーのサウンドに心地よさを加えました。

ピアノ塗装にこだわった理由

SS-AR1/AR2はピアノ塗装仕上げを採用。音質面での効果はもちろんのこと、見た目の美しさもスピーカーの重要な価値と考えます。塗装と研磨を何度も丁寧に行うことで、深みのある艶が生まれてきます。光を当てると、濃い茶色の奥にうっすらと木目が見える仕上げは、オーディオルームやリビングなど、部屋のどこに置いても上品な美しさを醸しだします。また、ピアノ塗装は湿度が高い日本において、木材を湿度や外的要因から守る非常に重要な役割を果たしているのです。このように丹念に仕上げられ、シンプルでありながら長く使っても飽きのこないデザインはオーナーの皆様に所有する喜びをもたらします。



シンプルかつエレガントなピアノ塗装仕上げ



スピーカーユニット

新開発のスピーカーユニット

SS-AR1/AR2は3ウェイ4ユニットを

採用したフロア型スピーカーです。心地よい音を実現するために、スピーカーの要であるユニットについてもこだわりました。リアリティあふれる音楽のために特性を追求することに加えて、音と音の間にある一瞬の静けさまで感じられる情緒豊かな音を目指しました。

クリアで力強い低域を再生する

アルミ振動板採用のウーファー

一般的に使われる紙素材を使った振動板は、強大なエネルギーを持つ低音再生では大入力時に変形してしまいがちですが、アルミ振動板は剛性が高いため力強い低域を再現できます。この振動板を強力な磁気回路で駆動。磁気回路には銅リングを採用して歪みを低減。これらの理想的なユニット構造と頑強なエンクロージャーが相まって、力強く、深く、それでいて安定感のある低音を実現しました。



クリアで力強い低音を再生するウーファーユニット (写真はSS-AR1)

スライスペーパー・コーン採用のミッドレンジ

素直でナチュラルな音色が重要なミッドレンジの振動板には紙素材を採用。振動板に一度切れ込みを入れてから再び接着する加工を行うことで、不要な共振が大幅に抑えられ、なめらかな中高域が再現できます。ウーファーと同じく磁気回路には銅リングを採用し、歪みの低減もしています。



滑らかな中高域を再現するミッドレンジユニット

背面に工夫を加えたトゥイーター

トゥイーターの磁気回路は6つのマグネットを同心円状に配置。振動板後方と磁気回路周辺に空間を持たせることで背圧がスムーズになり、振動板にかかるストレスを排除します。不要な共振や共鳴が除去できるため、クリアで伸びやかな高域再現が可能です。また、エッジと振動板を一体成形して軽量化し、振動板との接着方法や磁気回路を最適に設計することで、40kHz(-3db)、60kHz(-10db)、100kHz(-20db)の広帯域再生を実現しました。



6つのマグネットを同心円状に配置し、背圧のストレスを排除したトゥイーターユニット

音質の特徴

SS-AR1とSS-AR2の2モデルは、「豊かで心地よい音の表現」という共通の開発テーマに基づき、同じ素材と同じ加工法によって製作されています。2モデルの異なる点は、ウーファーユニットのサイズ(SS-AR1:200mm、SS-AR2:165mm)と、それに伴うエンクロージャーのサイズです。SS-AR2はスピーカーの高さだけでなく、横幅や奥行きが短く、一般的なリビングルームなどでも置きやすいサイズとなっています。SS-AR1は量感豊かで懐の深い低域再生により、スケール感あふれる堂々たる音楽再生が特徴。SS-AR2は小型ウーファーならではの立ち上がりの速い低域再生により、スピード感ある深刺とした音楽再生が持ち味。音楽を楽しむ部屋のサイズや音の好みに合わせてお選びいただけます。

SS-AR1/AR2の主な仕様



3ウェイ・スピーカーシステム

SS-AR1

希望小売価格 850,000円+税/1台

日本製



3ウェイ・スピーカーシステム

SS-AR2

希望小売価格 600,000円+税/1台

日本製

形式：バスレフ型

3ウェイ4スピーカーシステム

使用ユニット

トウイーター：25mmソフトドーム型×1

ミッドレンジ：130mmスライスペーパーコーン型×1

ウーファー：200mmアルミコーン型×2

再生周波数帯域：28~60,000Hz

クロスオーバー周波数：400Hz、4,000Hz

(マルチスロープ・ネットワーク)

出力音圧レベル：88dB (2.83V/m)

インピーダンス：4オーム

最大入力：200W

外形寸法：W320×H1080×D490mm

(グリルフレーム・突起部含む)

質量：約57kg

付属品：クリーニングクロス

(スピーカーコードは付属していません)

環境配慮情報

●主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません

形式：バスレフ型

3ウェイ4スピーカーシステム

使用ユニット

トウイーター：25mmソフトドーム型×1

ミッドレンジ：130mmスライスペーパーコーン型×1

ウーファー：165mmアルミコーン型×2

再生周波数帯域：42~60,000Hz

クロスオーバー周波数：400Hz、4,000Hz

(マルチスロープ・ネットワーク)

出力音圧レベル：89dB (2.83V/m)

インピーダンス：4オーム

最大入力：100W

外形寸法：W280×H980×D410mm

(グリルフレーム・突起部含む)

質量：約38kg

付属品：クリーニングクロス

(スピーカーコードは付属していません)

環境配慮情報

●主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません

ソニー コンポーネントオーディオ ホームページ
sony.jp/audio/

商品情報をはじめ、
 ソニー独自の高音質技術などの
 情報も掲載しています。

安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などにより、死亡や大けがをすることがあります

カタログ上のご注意 ●カタログ掲載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください ●カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります ●カタログ掲載商品のなかには地域により品薄・品切れになるものがあります。販売店にお確かめのうえお選びください ●仕様内のJEITAは、電子情報技術産業協会の規格による測定値です テレビと音響機器との設置上のご注意 ●本製品は防磁型ではありません。そのため、ブラウン管式のテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります ●スピーカーをテレビの側に置くと、

テレビから出る磁気によってスピーカーから雑音が出る場合がありますのでご注意ください 商品ご購入時のご注意 ●お買いあげの際には製造番号をご確認ください ●ご購入の際は、必ず「保証書」の記入事項を確認のうえ、大切に保管してください ●ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください 各社商標など ●“SONY”および“make.believe”はソニー株式会社の商標です ●その他、記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です

ソニーウェブサイト

パソコン、タブレット、スマートフォンなど

sony.jp/

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

ソニー株式会社
 ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

商品に関するお問い合わせは

買い物相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-777-886

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9555

●FAX 0120-333-389

●受付時間 月~金 9:00~18:00 土・日・祝日9:00~17:00

カタログ内容について、詳しく知りたい方は、近くのソニー商品販売店、または買い物相談窓口にお問い合わせください

ショールーム 銀座ソニービル / 〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-1
 ソニーの最新商品やソリューションをご体験ください。なお展示していない商品もあります

お問い合わせは当店へ

2013.12

カタログ記載内容2013年11月現在